

# 世界の子どもの本展

—国際アンデルセン賞とIBBYオナーリスト2020—

## 開催者募集



**JBBYは、今年も「世界の子どもの本展」を巡回します!**

この図書展は、2020年IBBYオナーリストに選ばれた世界の優れた児童書と、国際アンデルセン賞・作家賞のジャクリーン・ウッドソンさん(アメリカ)、同画家賞のアルベルティーヌさん(スイス)の作品を展示するものです。その規模は世界60カ国から約200冊!

外出の機会が減っている今だからこそ、身近な地元で、本を通して世界をめぐる旅を楽しみませんか? 様々な言語の原書を手にする事は、地域のお子さんにとっても貴重な体験になるでしょう。

### 対 象

展示会場を用意可能で、責任を持って開催できる方ならどなたでも(有志の個人・グループでも開催可能です)

### 巡回期間

2021年9月～2023年3月(2年間)

### 巡回セット内容

展示本(約200冊)のほか、1冊ごとのキャプション、解説パネル、日本語版カタログ(閲覧用)など

### 貸出条件

\*貸出期間:1会場2週間以内を原則とする。  
\*費用:展示物賃借料 80,000円(+消費税)  
送料実費 往復3万円程度(発送地域による)  
※その他、展示にかかる費用は開催者負担

### 詳細・お問合せ

JBBYウェブサイトをご覧ください。  
<https://jbbby.org/news/domes-news/post-11266>

★ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



## IBBYオナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会 (IBBY) が1956年に創設した、世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBYオナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2020年版は60カ国48言語179作品が推薦されました。日本からは、文学作品に梨屋アリエさんの『きみの存在を意識する』（ポプラ社）、イラストレーション作品にたむらしげるさんの『よるのおと』（偕成社）、翻訳作品に西村由美さんの『青い月の石』（原作：トンケ・ドラフト/岩波書店）を選びました。

日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBYオナーリストの全作品を国内で巡回しています。



## 国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会 (IBBY) が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞 (A Little Nobel Prize)」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。

2020年は、作家賞をアメリカのジャクリン・ウッドソンさん、画家賞をスイスのアルベルティヌさんが受賞しました。

## 開催の様子 (2019・2020年度)



奈良県立図書情報館



小淵沢 旧バウハウス



南栄住宅集会所

大阪府立中央図書館



流山市立中央図書館

### 一般社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY)

国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBYにはどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支えています。詳しくはJBBY事務局までお訊ねください。

「JBBY事務局」〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5F

Tel: 03-6273-7703 Mail: info@jbby.org <https://jbby.org/>